

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

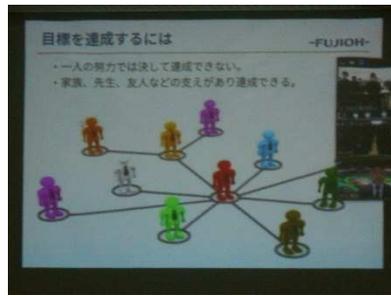
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【愛媛県・今治市】

学校名【愛媛県立今治工業高等学校】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒(517)名 1年生(161)名、2年生(175)名、3年生(181)名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名() ② 行事名(オリンピックパラリンピック推進事業 オリンピックパラリンピック講演会) ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図るため、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、生徒がスポーツの魅力を感じ、意欲的にスポーツに取り組む環境づくりをする。 また、実際にオリンピックに接することにより、スポーツの持つ様々な価値を学び、積極的にスポーツを「する・見る・支える」という意欲を持った生徒の育成を図る。
5 取組内容	12月8日(火)生徒は体育館(2, 3年生、1年生3クラス)、会議室(1年生2クラス)の2か所に分かれ、Web 会議システム(Zoom)を活用した講演会を実施した。   当初、本校に講師を招いての講演会、体験活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止強化の面から生徒の安全を考慮し、急遽前日に予定を変更する事態となった。講師、学校側とも初めてのリモート講演ということもあり、前日の放課後からZoomを用いての打合せ、を繰り返した。講師の井上先生には、生徒たちにわかりやすく説明できるようにパワーポイントも活用していただいた。



講演会の始まる数分前から事前に通信可能状態にしながら待機をし、生徒の体育館への入場の様子、校長あいさつや講師紹介、こちらの様子が伝わりやすいように工夫も行った。

実際に講演が始まってみると通信の不具合もなく無事講演会を終えることができた。



講演の内容としては、自己紹介をはじめ、最初は「嫌いだった」レスリングで、オリンピックを目指すまでの経緯や一度はあきらめかけたオリンピックに再挑戦したことへの努力などを話していただいた。また、「周囲への感謝の気持ちを忘れてはいけない。」と生徒たちへと訴えかけてくれました。



講演後の体験活動では、ネクタイ姿からトレーニングウェアに姿を変えて、生徒たちにトレーニングを紹介してくれました。

トレーニングには、本校の各運動部から5名程度を選抜し、約60名の生徒たちが参加しました。また、部活動を引退した3年生も体験活動に参加するなど積極的な生徒も見られました。トレーニング内容は、家で一人でもできる内容であり、けがや体調、個々の能力に配慮をしながら、ウォーミングアップ、体感トレーニング、タバタ式の20秒トレーニングなどで汗を流しました。



6 主な成果	<p>体育の授業時に、導入として体験活動で教わったトレーニングを実施している。</p> <p>また、部活動においてもいくつかの部活動でトレーニングを練習に取り入れている。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>今回他校にはないレスリング競技を題材に取り上げ、実際にオリンピックに触れ合うことで、オリンピック選手を身近に感じるとともに、夢や目標を設定することの大切さ、感謝の気持ちを忘れない心を養うことができた。</p>
8主な課題等	<p>Web 会議システム (Zoom) を利用しての講演会は初めての取組みであった。会場の雰囲気を感じ取ることが難しいため、質問形式で展開していくなどの工夫があればもっとよかったと思う。また、講演会にこだわらず、リモートトレーニングだけでも十分の内容であった。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>東京オリンピックの開催有無もあるかもしれないが、同じような体験活動や講演会などを開催したい。</p> <p>実施することで、生徒自らが、「する、みる、支える」の立場からスポーツに積極的にかかわることができる能力、態度を育成したい。</p>